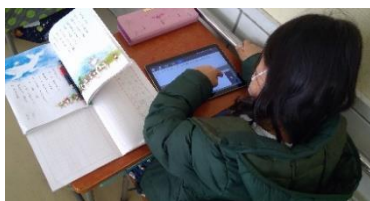


渋谷区立中幡小学校

○ 本校では、主体的、対話的に学ぶ児童を育成するための授業を計画する中で、自分の考えを確立したり他者の考えとの関連付けをしたりする場面での ICT 活用を、日々目指しています。また、深い学びや授業のユニバーサルデザイン化の観点から、板書の構造化との関連性も重視して授業を行っています。

1年 国語 「くじらぐも」

遊びたい気持ちが強かったのはくじらぐもと子供のどちらでしょうか。

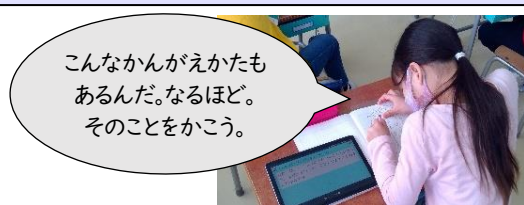
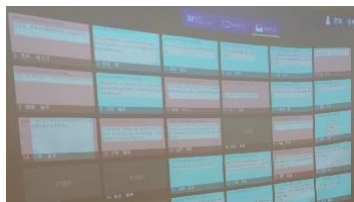


①自力解決

1年生はローマ字入力ができないため、キーボードの必要がないのでキーボードを外して活用しています。教科書、ノート、タブレットを開くスペースが確保できています。

②意見の共有、交流

手書き入力ができるのはオクリンクです。一目見て意見の違いが分かるよう、事前に色分けしたカードを配布し、自分の意見の色のカードに理由を書き込みます。そして画面共有も使いながら、意見の交流も行いました。



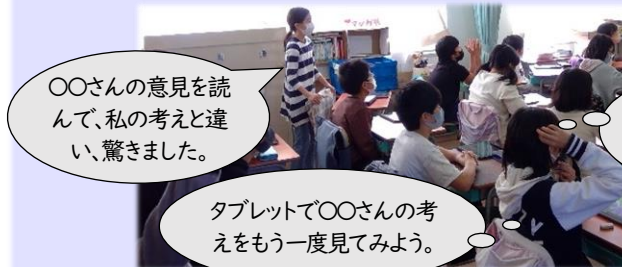
こんなかんがえかたもあるんだ。なるほど。そのことをかこう。

③学びを深める活動

自分とは違う考えや意見を、見たり聞いたりして、納得したものをノートに記録しました。
【なるほどノート】

5年 道徳 集団の中での役割「ケンタの役割」

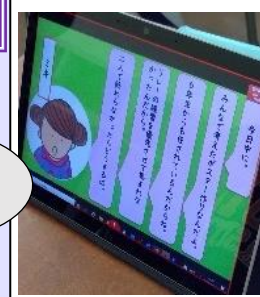
任せられた仕事をよりよくこなすために大切なことはどんな事でしょうか。



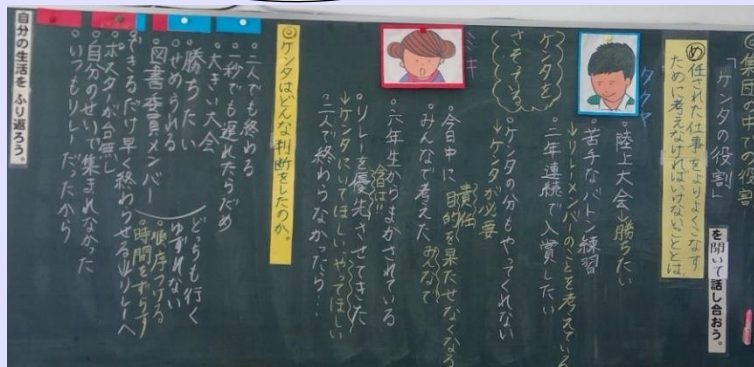
〇〇さんの意見を読んで、私の考えと違い、驚きました。

似ているけれど少し違う…。

タブレットで〇〇さんの考えをもう一度見てみよう。



①資料提示
場面絵を活用したパワーポイントを画面共有し、教材提示を行いました。



②考え、議論する活動

オクリンクを使い、自分の考えを表現し、話し合いを行います。

今回は、二つの意見とその間で揺れる心情の割合を赤と青とで分け、視覚的に分かりやすくしました。その後、提出ボックスを見て友達の意見を読んだり、画面共有を利用して話し合いを行ったりして考えを深めました。



＝他にも多くの学級で、板書と ICT を関連させた学習活動が多く見られました＝



＝調べたものは、ノートやワークシートに書き溜めます＝

